

政策シート 政策名 02 ICTを活用した魅力あふれる農業への変革

予算費目名 01 農業政策推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

ICTやAIを活用した高効率で高収益なスマート農業を推奨し、市内において圃場の拡大・拡散を図っていくことにより農業算出額の向上を目指す。
また、天竜区における新清掃工場から発生する熱、電気などのエネルギーを有効活用した付加価値の創出などを行い、新たな農業への変革を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑩生産・消費						
-----	--------	----------	--------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,903	24,826	23,951	31,486	35,786	
決算	4,843	24,391	22,777	30,511		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	4,900	11,200	10,500	16,100	16,100	
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,743	35,591	33,277	46,611	51,886	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スマート農業の実装に向けた進捗率	%	目標	17.5	20	30	35	40	60
		実績	17.5	30	35	35		
新清掃工場における付加価値事業の実装に向けた進捗率	%	目標	5	12.5	20	20	60	90
		実績	10	12.5	12.5	20		
スマート農業の普及率	%	目標		0.9	1.8	2.7		
		実績		0.8	1.7	2.7		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

ICTやAIを活用した高効率で高収益なスマート農業を推奨し、市内において圃場の拡大・拡散を図っていくことにより農業算出額の向上を目指す。
また、天竜区における新清掃工場から発生する熱、電気などのエネルギーを有効活用した付加価値の創出などを行い、新たな農業への変革を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
スマート農業の実装に向けた候補地を選定し、地元との調整や説明会を実施し理解と協力を得ることができた。 また、新清掃工場における付加価値事業では本課が主体課であることが認められ、主体課検討会議や先進事例地を視察することにより、浜松市における付加価値事業のイメージを課内で共有した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	もうかる農業推進事業	○	○		51,886	35,786	2.3				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					51,886	35,786	2.3				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 もうかる農業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- ・高効率で高収益なスマート農業の普及・拡大を図る。
- ・新清掃工場から発生する熱、電気などのエネルギーを有効活用した付加価値事業の実現を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)エ				

(4) 関連するSDGsのゴール

	② 飢餓	⑧ 成長・雇用	⑨ イノベーション
事業とゴールの関連性	⑫ 生産・消費	高効率で高収益なスマート農業が実装され、拡大・拡散が図られたことにより安定的な農産物が栽培され「食料安全」が保たれる。また、農業園場が拡散されることにより「新たな雇用」が生まれる。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,903	24,826	23,951	31,486	35,786	
	決算	4,843	24,391	22,777	30,511		
	国・県支出				27,692		
	市債						
	その他						
	一般財源	4,843	24,391	22,777	2,819	35,786	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	11,200	10,500	16,100	16,100	
人工	正規	0.7	1.6	1.5	2.3	2.3	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,743	35,591	33,277	46,611	51,886	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
スマート農業の実装に向けた進捗率(%)		目標	17.5	20	30	35	40	60
		実績	17.5	30	35	35		
新清掃工場における付加価値事業の実装に向けた進捗率(%)		目標	5	12.5	20	20	60	90
		実績	10	12.5	12.5	20		
スマート農業の普及率(%)		目標		0.9	1.8	2.7	3.6	4.5
		実績		0.8	1.7	2.7		
スマート農業推進事業費補助金 実施事業 累積件数(件)	I-1(1) エ	目標		5	15	25	25	25
		実績		9	18	29		
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	02	01	001711000	01	農業水産課	前野 隆典	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・次世代施設園芸団地の候補地における地元説明会の実施と、アンケート調査結果を基に、地権者の仮同意徴収を図る。
- ・新清掃工場から発生する熱、電気などのエネルギーを有効活用した付加価値事業の実現に向け、廃棄物処理課と調整をする。
- ・スマート農業推進事業費補助金の公募及び採択を実施する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・次世代施設園芸団地の実装に向けた候補地を選定し、地元との調整や説明会を実施し仮同意取得と事業計画へ理解と協力を得ることができた。
- ・新清掃工場における付加価値事業では、廃棄物処理課と調整を図った。
- ・スマート農業推進事業費補助金の公募及び11件の採択を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・次世代施設園芸団地の実装に向けた候補地を選定し、地元との調整や説明会を実施し理解と協力を得ることができた。
- ・新清掃工場における付加価値事業において、廃棄物処理課と調整を図った。
- ・スマート農業推進事業費補助金の11件の採択により、スマート農業の普及・拡大を図った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・次世代施設園芸団地の実装に向けて地元との調整や説明会を実施し理解と協力を得る。
- ・新清掃工場における付加価値事業では、浜松市における付加価値事業を廃棄物処理課と共有する。
- ・スマート農業推進事業費補助金を活用し、スマート農業の普及・拡大を図る。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・次世代施設園芸団地の実装に向けて地元との調整や説明会を実施し理解と協力を得る。
- ・新清掃工場における付加価値事業では、浜松市における付加価値事業を廃棄物処理課と共有する。
- ・スマート農業推進事業費補助金を活用し、スマート農業の普及・拡大を図る。